

平成23年度 学校評価一覧シート（中間評価）

No	担当	重点目標	具体的方策	評価基準	中間評価	課題、反省、意見等
1	総務部	<p>ア 学校と家庭の連携と情報の共有化</p> <p>イ 地域から信頼される学校づくり</p> <p>ウ 会議を含めた学校行事の効率化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 様々な学校での教育活動に対して、保護者の立場に立った視点や意見を素直に受け止め、対応可能なことから反映させる。 P T Aの諸活動（懇談会、講演会、研修見学会、高等学校P T A連合会主催の各大会等）を通して保護者と連携を深めると同時に、地域にアピールできる場面を充実させる。 学校行事の計画的な立案を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者から学校に対する様々な意見を聞くことができたか。 P T Aの諸活動を通して学校の教育活動をアピールできたか。 	<ul style="list-style-type: none"> P T A役員、委員より生徒の状況や学校に対する思いをある程度は聞くことができています。 学校での保護者と係わる行事（懇談会、体育祭、文化祭等）は結構設定されており、これらを通して一部の保護者へは十分アピールされているが、なかなか全体に広がらない。 年度当初の課題である保護者向けの緊急時一斉メール配信について具体的に進める。 防災に対する職員の意識向上が必要であり、特に防災訓練の在り方について実施時期も含めて検討していく。 	
2	教務部	<p>ア 「わかりやすく、興味の湧く授業」を目指した各教科・科目内容における基礎・基本の徹底</p> <p>イ 授業規律の確立と学習環境の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教員の研修を充実させ、授業参観を活発にし、わかりやすい授業展開を工夫する。 各教科・科目における基礎的、基本的分野を絞込み、継続した学習指導を心掛ける。朝学習を、学年会を中心に実施し、学ぶ意欲を高めさせる。 授業規律の確立に向けて教職員相互で共通認識を持ち、教科・学科の枠を超えてよりよい学習環境作りを組織的に推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観が活発に行われたか。 習熟度別学習を始め、各授業で基礎基本に重点を置いた指導がなされたか。朝学習の取組状況は良かったか。 教職員同士の意思疎通が図られて、連携した生徒指導ができていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼時の連絡黒板を利用することで参観者が増加し、指導助言が行われた。 習熟度別学習で小人数学習を行っているが、継続した指導が必要である。朝学習の充実により、基礎基本が徹底できた。 生徒情報交換を該当クラスだけでなく、職員会議や成績会議で行うことにより教職員相互の共通認識が高まり連携した生徒指導ができつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度 教務内規の整備 新教育課程編成 長期休業中の課題指導 入試業務 来年度へ向けて 授業時数確保 時間割編成
3	生活指導部	<p>ア 適切な言葉遣いの励行</p> <p>イ 適正な身だしなみの習慣化</p> <p>ウ 時間厳守の精神の涵養</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日常の挨拶や職員室の入退室における適切な所作を具体的に伝達する。 シャツの第一ボタンを外すこと、男子生徒がズボンを下げてはくこと、および女子生徒がスカートを短くすることをこまめに指導する。 遅刻防止を呼びかけ、遅刻多回者への段階的な個別指導を充実させる。また、授業の始業時間を厳守させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校職員や外来者に対して、生徒が自発的に挨拶をしている。 制服の適切な着こなしが、生徒集団の常識となっている。 遅刻数を半減させる。（前年の全校生徒に対する比率2.37） 	<ul style="list-style-type: none"> 外来者に対するあいさつが意識されていない。職員側の指導意識を充実させる必要を認める。 生徒を個別に指導する場面で、教師が生徒の身だしなみの乱れを放置している場面を見かける。職員集団に時節に応じた情報を提供し、指導しやすい体制作りを工夫する必要を認める。 前年度に比べて大幅に減少しているが、今後、就職試験後の3年生の生活を充実させることが重要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 他人に対する挨拶の習慣が根付いているとは言えない。自発的に挨拶ができるように繰り返し働き掛けたい。 生徒の服装の乱れに全職員が対応できるように、教員の意識を高めたい。 特定の生徒の遅刻が目立つ為、常習生徒の指導を工夫したい。

4	生徒会部	<p>ア 学校行事や部活動の充実</p> <p>イ 自発的・自治的な活動による学校の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会行事や部活動が円滑に行えるように、規則を守り、各自の役割を責任を持って行うだけでなく、他者に対して配慮ができるようにする。 生徒会機関誌を利用し、全校生徒に部活動の活躍ぶりを広報し、生徒自身の活躍を意識させる。 生徒自らが生徒会活動の企画・運営に積極的に参加し、自発的な活動が展開できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 規則を守り円滑に活動できたか。また、責任を持って、役割を果たせたか。 部活動成績を収集し、広報できたか。 積極的に参加し、自発的な活動ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育祭や文化祭などにおける規則を、生徒は十分意識して守っていた。応援の練習も度々休憩を入れ、保健室利用者を大幅に減少させる事ができた。 県大会へ出場できた部が少ないこともあり、余り広報できなかった。大会成績に抛らない活躍の情報収集を検討する。 生徒自身が主役であることを話し、意識は高かった。しかし、検討や決定などに時間が掛かり、行動力に欠け、スケジュールは遅れてしまった。 	
5	工務部	<p>ア 資格取得の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術検定 技術顕彰 国家資格取得 <p>・ジュニアマイスター顕彰の取得</p> <p>イ 競技大会・コンクールへの挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国大会 全国コンクール 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県技術検定制度、愛知県技術顕彰制度の啓発活動を行い、計算技術検定、情報技術検定、危険物取扱者など3ポイント以上の資格を取得させる。 専門学科で必要とする国家資格取得の啓発活動を行い、資格を取得させる。 ジュニアマイスター顕彰制度の啓発活動を行う。また、資格データを活用し、シルバー、ゴールド、特別表彰受賞候補者に顕彰申請の方法を紹介する。 総合競技大会やロボット競技大会など啓発活動を行い、県大会で上位入賞を目指し、東海大会、全国大会へ挑戦する。 各種団体が主催するコンクールに参加し、上位入賞を目指し、全国コンクールに挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県技術検定制度、愛知県技術顕彰制度の啓発活動を行い、計算技術検定、情報技術検定、リスニング英語検定、危険物取扱者など3ポイント以上の資格を取得できたか。 ジュニアマイスター顕彰制度の啓発活動を行う。また、資格データを活用し、シルバー、ゴールド受賞候補者に顕彰申請の方法を紹介できたか。 総合競技大会、ソーラーカー・エコカーレース、ロボット競技大会、デザインコンテストなど啓発活動を行い、上位入賞を目指し、全国大会へ挑戦できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県技術検定制度の計算技術検定など多くの生徒が資格取得した。特にリスニング英語検定試験導入2年目で検定試験として定着ができた。 愛知県技術顕彰制度の前年に41名申請して愛知県技術顕彰を取得した。 資格データを活用し、シルバー12名、ゴールド3名の生徒が資格取得した。 第26回全国高等学校インテリアデザイン展において、最優秀学校賞および文部科学大臣賞を受賞するなど、3連覇を果たした。 	
6	進路指導部	<p>ア 各学年に応じた計画的な進路指導の充実</p> <p>イ キャリア教育の充実</p> <p>ウ 進学指導の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 担任面接を実施し、早期に進路意識を持たせ、担任・学科との連携を図る。 就職試験や大学推薦試験等の面接指導を8月は学科中心に、9月は全職員により実施し、面接指導の強化をはかる。 キャリア教育を学校全体として、あるいは学科毎にその特色を生かしたインターンシップや会社見学を企画し、社会人としての勤労意識を高める。 進路関係のLTを充実させ、個別の相談を学科・担任・進路指 	<ul style="list-style-type: none"> 就職・進学のための面接指導を実施し、生徒に進路意識を持たせることができたか。 キャリア教育の観点から就職・進学相談が充実していたか。 3年生に対する進路指導が充実していたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学期はじめに面接週間を実施した。また、3年生は計画通りに、夏期休業中に学科中心の面接指導を実施し、9月に全職員による、就職・進学のための面接指導を実施した。進路先決定のための意識向上になった。 進学希望者には大学説明会やオープンキャンパスに参加するよう促した。また、進学説明会や指定校推薦者の校長指導を実施した。 2年生の42名が21社の企業にインターンシップを実施した。 7月に担任、学科と連携を図り、保護者会等で3年生の最終進路決定を実施した。 3年生の進路模擬試験、職業ガイダンス、進路指導懇談会、応募前職場見学等で意識を高 	

			<ul style="list-style-type: none"> 導部と協力して実施する。 ・早い学年からの進学説明会を開き準備をさせる。また、校外での説明会やオープンキャンパスに参加させる。 ・進学模試・公務員模試などに積極的に生徒を参加させる。 		めた。	
7	保健部	<p>ア 保健管理の徹底</p> <p>イ 保健指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、職員の健康の保持増進を図るとともに安全で健康な学習生活のできる環境の整備に努める。 ・救急処置については、引き続き計画・連絡・機材の整備に努める。 ・生徒一人一人の心と体の健康の保持・増進を図るために、年間を通して総合的な保健計画を作成し、保健教育・保健管理の充実を図る。 ・体の健康については、“保健だより”を通して、季節に対応した対処の方法等を働きかけ、健康に対する意識を高める。 ・ゴミの適正処理および、環境衛生検査の徹底等、学校環境衛生の適切な維持・改善に努める。 ・保健管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で健康的な学習生活のできる環境整備に努めることができたか。 ・救急処置について計画・連絡・機材の整備を図ることができたか。 ・保健教育、保健管理の充実を図ることができたか。 ・体の健康について行動化・実践化を図る健康教育を展開できたか。 ・学校環境衛生の適切な維持改善に努めることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校自体の老朽化に伴う危険箇所をまだ十分に整備依頼できていない。 ・本年度は9月に心配蘇生法(AEDの使い方等)の講習を行い、ほぼ全員に徹底できた。また、課題であったPTAの皆様にも参加していただくことができた。AEDについては、新たに1台購入していただき、定時棟と体育館に分けて設置してある。 ・インフルエンザの予防接種(職員向け)については、今年度も11月に実施し、定着してきた。 ・毎月出している“保健だより”を通して、その季節にマッチした情報を提供できている。 ・ゴミの分別については、美化委員の協力を得てチェックならびに分別活動をおこなっている。ただ、ゴミの持ち帰りについては、徹底を欠いている。 	
8	教育相談部	<p>ア 教育相談と特別支援教育の充実</p> <p>イ 校内、校外の連携と迅速な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「相談室だより」により、生徒の心の健康のため、校内外連携を迅速に図り対応する。 ・教育相談部と養護教諭、スクールカウンセラー、担任の聴力により相談活動を充実する。 ・特別な支援教育について全教職員の理解と協力体制をつくり、必要な支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康について行動化・実践化を図る教育相談を展開できたか。 ・スクールカウンセラーに繋ぐことができたか。 ・外部機関に繋ぎ、連携はできたか。 ・特別な支援教育の校内体制が整備でき、援助できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「相談室だより」を毎月して、生徒への情報発信することができた。 ・スクールカウンセラーと生徒、保護者、担任が面接し、相談して対応することができた。 ・保護者と本人に適切な説明をして、納得してクリニックを受診してもらい、学校として医師の指導を受けて、その後の対応ができた。 ・特別な支援教育の校内体制整備のための研修勉強会を行うことができた。 	

9	図書部	<p>ア 図書館の活性化および生徒の図書館利用の促進</p> <p>イ 視聴覚行事による文化的体験と情操の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、図書館だよりを発行し、新刊図書の情報や図書館展示の広報に努める。 1年入学時に図書館オリエンテーションを実施する。 演劇・音楽・古典芸能の三つのジャンルを3年間のローテーションで実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月図書館だよりを発行することができたか。 新刊図書の情報や、図書館展示の広報に努めることができたか。 計画どおり各クラス実施できたか。 図書館の利用方法を伝えることができたか。 生徒の興味を引き、作品として優れたものであるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館だよりを毎月発行し、生徒に図書に関する多くの情報を伝えることができた。 1年生へのオリエンテーションにより本校図書館の利用方法を周知させることができた。(改善点 貸出本の紛失・汚損は弁償となる旨を周知徹底する。) 生徒にとって意義のある、質の高い作品(公演)が選定できた。 	
10	電子機械科	<p>ア 基本的生活習慣の確立</p> <p>イ ものづくり教育と資格取得</p>	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻、欠席、早退を撲滅させ、挨拶、望ましい言葉遣いを励行させる。 頭髪、服装など身だしなみについても職員全員で指導する。 授業を大切にし、理解できない生徒を補習などで個別指導を行う。 ものづくりのむずかしさや大切さを理解させる。 実習、課題研究、研究部でのものづくり教育の推進を図る。 在学中に取得できる資格に積極的に参加させ、合格を図る。 技能士など高度な国家資格へも挑戦させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣は身に付いたか。 授業を大切にしているか。 ものづくりに関して興味をもつことができたか。 資格取得等を積極的に取り組めたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻回数が多い生徒に対して担当・身だしなみ科指導を必ず実施して職員一同で指導にあたっている。 全員の生徒に対して取り組んではいるが、興味のある・なしの生徒に対して指導に苦労している。 資格試験の前に補習を実施して合格者を増やしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 服装の正しい着こなし方、言葉遣い等、就職試験で生徒が困らなくて済むよう日頃から身に付けさせたい。 適切な進路指導の在り方を模索している。 外部に対してのアピールする方法はないか。 職員間での技術・技能の伝承をする講習を行えないか。
11	電気科	<p>ア 基本的生活習慣の確立</p> <p>イ 資格取得指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始における生徒の身だしなみを確認し、不備がある生徒には、その都度改めるよう指導する。 遅刻防止の指導や、授業開始の時間を厳格にするなど、時間を守ることの大切さを指導する。 2年生での第二種電気工事士の合格率80%を目指す。(卒業時全員取得を目標とする)第二種電気工事士取得をステップとし、より高度で専門性の高い資格への足がかりとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員の身だしなみを確認し、不備のある生徒には、改めるよう注意できたか。 時間を守らせることができたか。 資格取得指導の効果が上がったか。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の共通理解はあるものの、指導に温度差があるため、職員により一層の努力が必要である。 昨年度に比べ遅刻数は減少し、ある程度評価できると思われるが、継続して指導していく必要がある。 2年生の筆記試験合格率86.3%、技能試験合格率76.2%で総合合格率65.8%と目標を達成することができなかった。3年生は総合合格率78.9%で生徒の取得率は75.4%となった。効果的な指導法を考えていきたい。 	

12	情報技術科	<p>ア 基本的生活習慣の向上 ・遅刻者数の減少</p> <p>イ 提出物の期限厳守 ものづくり教育の充実</p> <p>ウ 資格取得の奨励</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、早退、欠席を減少させるため、前年度と同様に担任・学科で協力して指導を行う。保護者との連絡を密にし、家庭の理解と協力のもと徹底した指導をする。 ・提出物の期限を厳守できるようにする。 ・各種競技会・コンテストを目標に、課題研究や研究部での活動を中心に、ブライディング、ものづくり教育の推進を図る。 ・電気・通信・情報技術系の資格取得にあわせた授業展開と補習を実施する。 ・各自の資格取得計画書を作成することで、卒業時までに進路に合わせた資格を計画的に取得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻指導において担任・学科・家庭の連携指導ができたか。 ・指導の成果が授業規律の向上に結びついたか。 ・競技会、コンテストの参加状況および結果はどうであったか。 ・目標としている資格試験で結果を残せたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年においてほぼ、家庭の協力を得ながら指導を実施できている。遅刻数も昨年度に比べ、かなり減少傾向にあるが2年の一部の生徒で保護者との連絡がつかず遅刻や欠席が増加している。 ・提出物は昨年度より改善されたが、一部の生徒で遅れる生徒がおり、更なる働きかけの必要を感じる。 ・IT選手権、WRO レゴロボットコンテストは特に成果は出なかったが、電子機器組立て競技で個人6位、ウェブデザイン技能競技会で全国大会に出場し敢闘賞を取得できた。 ・ITパスポート試験に9名、工事担任者DD三種に2名、第二種電気工事士に13名取得できた。 	
13	建設科	<p>ア 運動部への登録の奨励</p> <p>イ 進路希望に応じたコース選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生には、運動部への登録を勧める。2年生には、継続した活動を指導し、3年生では3年間、運動部で努力した結果を残させる。 ・1年次に、専門科目の基礎学力の定着と進路指導をからめ、コース選択に向けて努力させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動部への参加者を増やせたか。 ・自分の進路を考えさせ専門科目の学習に取り組ませることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生では部長、副部長を務める生徒が複数おり、各学年とも運動部への参加が前年より増加している。 ・専門科目の時間に、建設系の進路の話をするなど、コース選択に向けて取り組んでいる。 	<p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール部、野球部、弓道部、ソフトテニス部、陸上競技部、プラスバンド部の部長または副部長を建設科の生徒が務めているので、先輩が後輩に部活動の継続を呼びかけるなど、生徒間の交流を大切にしていきたい。 ・現場見学や左官実習など、教科書を離れた部分で建設系の仕事に触れることで、自分の進路を考えさせる機会を増やし、建設科の目標とする技術者・職人の育成を目指したい。
14	化学工業科	<p>ア 基本的生活習慣の向上と規範意識の確立</p> <p>イ 信頼と魅力ある学科づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何事にも担任・学科が協力して指導していく。また、保護者との連絡を密にして、家庭との協力体制を確立する。 ・あいさつ、言葉遣いの指導に力を入れ、望ましい社会性を養い、よい授業規律になるよう徹底する。 ・規則正しい生活を確立し、欠席、遅刻、早退をなくす。 ・基礎、基本をおろそかにせず、魅力ある授業、実験実習になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力して指導できているか。 ・意識は高まったか ・授業規律は向上したか ・欠席、遅刻、早退は減少したか ・基礎学力は定着しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・科会において、定期的に各クラスの状態および個別指導について、担任との連絡、協力ができている。 ・職員室の入退室時のあいさつはできているが、言葉遣いや授業態度は一部意識の欠ける生徒がいる。 ・全体としては、欠席、遅刻、早退ともに減少しているが、一部欠席遅刻の多い生徒がいる。 ・基礎学力がなかなか定着しない。粘り強く指導していきたい。 ・難易度の高い資格に挑戦し、合格する生徒が 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合競技大会化学分析部門で個人2位、個人3位。団体優勝(6年連続) ・高等学校工コカーレース総合大会燃料電池車部門で準優勝、ワールドエコムープ燃料電池部門で第3位に入賞した。 ・資格取得においては、今年度も良好な成績を修めることができた。第1学年計算技術検定3級は4年連続で受験者全

			<ul style="list-style-type: none"> よう努める。 資格取得を奨励し、合格率の向上を目指す。 エコカーの各種競技会や総合競技会、ものづくりコンテストなどの参加をとおして、知識・技能の伝承を図る。 堀川エコロボットコンテストや、ゆうわフェスタ、青少年のための科学への祭典、技能プラザ、陶のあかり路などをとおして、地域社会とのかかわりを図り、よりいっそうPR活動に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得の意識・内容が向上しているか ・知識・技能が伝承できたか ・イベントに参加し、PRできたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 増えてきている。 ・エコカーや分析競技では、毎日遅くまで製作、練習する姿が見られ、生徒の技能も向上し、伝承できている。 ・堀川エコロボットコンテスト、ゆうわフェスタ、青少年のための科学への祭典に参加してPR活動できた。今後、陶のあかり路にも参加する予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> 員合格、危険物取扱者三種合格率83%など、生徒はよく頑張っている。この後も資格取得の試験はあるので、現在の指導方法を継続し、努力していきたい。 ・提出物の未提出・遅れの生徒がいる。提出状況を掲示するなど、指導方法を工夫して再提出も含めて早く提出するよう、生徒の意識を変える指導が必要である。 ・考査などの結果をみても、生徒の努力がかい見られるところがある。教科担任とクラス担任が協力して授業時間以外の家庭や学校での、学習指導が必要である。 ・他の学科より職員の人数が少ないため、職員一人一人の校務や生徒指導等の仕事量が多く問題となっているので、こうした負担を減らすために増員や応援などが必要である。
15	デザイン科	<ul style="list-style-type: none"> ア 学習活動の向上 イ 基本的生活習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲を持って取り組める魅力ある授業や、学力に応じわかりやすい授業展開を工夫する。 ・授業に集中させる工夫をして、授業内での理解や達成を目指す。 ・学校生活にしっかりとした目的や目標を持たせ、欠席なくし、遅刻の撲滅を目指す。 ・授業やST、LT等を通して、校則やルールを守らせ望ましい社会性を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や状況を把握し、魅力ある授業展開ができたか。 ・個々の目標や目的を持たせ、欠席や遅刻の数が減ったか。 ・校則やルールを守り、望ましい社会性が身についたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中の課題が提出できない生徒や、夏休み後欠席や遅刻の数が増加した生徒が目立った。 ・職員室に入室する際などの挨拶や、言葉遣い等が徐々に正せるようになってきた。 ・コンクールやコンテストの入賞者は、昨年度と比較して全体的に増え、今年度は2つの全国レベルの受賞ができた。また、3年連続で文部科学大臣賞も受賞でき、素晴らしい結果を残すことができた。 	
16	1年	<ul style="list-style-type: none"> ア 学習習慣の確立 イ 基本的生活習慣の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のSTで、学習プリントを実施する ・「正しい言葉使い、身だしなみ、遅刻撲滅」を重点目標に掲げ、望ましい社会性を養い、指導の中で約束・ルールを守ることの大切さを指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の学習で、学習習慣が身についたか。 ・正しい言葉使いができていないか。 ・正しい身だしなみができていないか。 ・遅刻が無くなっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には、学習意欲が出てきていると思われる。 ・正しい言葉使い・身だしなみができていない生徒が若干見られるが、引き続き指導していきたい。 ・数は減少してきているが、撲滅するまで努力していきたい。 	

17	2 年	ア 「挨拶」 ・望ましい人間関係をつくる イ 「掃除」 ・自分の役割を果たす ウ 「時間」 ・約束・ルールを守る	・望ましい人間関係の構築を目指し、挨拶・礼儀作法等の指導を日々行う。 ・自らに与えられた役割をしっかりと果たす責任感の養成を目指し、授業規律の確立、清掃活動への積極的参加、体育祭・文化祭などの学校行事への積極的参加などを促す。高校生活における最大の学校行事である修学旅行を成功させる。 ・身だしなみ指導、遅刻指導などを生活指導部と連携しながら、職員全体で行う。	・望ましい人間関係は構築されたか。 ・授業規律は確立されたか。 ・清掃活動に積極的に参加したか。 ・学校行事に積極的に参加したか。 ・身だしなみ指導、遅刻指導などを生活指導部と連携しながら、職員全体で行うことができたか ・修学旅行は成功したか。	・望ましい人間関係の構築を目指し、担任面接、保護者会等を積極的に実施している。 ・授業規律を乱す生徒がまだ見られる。 ・教室等はまだ綺麗ではなく、まだまだ不十分である。さらに校内美化に努めたい。 ・学校を担う中心学年として、体育祭などの学校行事に積極的に参加することができた。 ・生活指導部と連携しながら、職員全体で行っているが、さらに努力したい。 ・修学旅行の準備を順調に進めている。	
18	3 年	ア 社会人としての基礎の確立 イ 進路指導の充実	・出欠状況の改善を図り、遅刻指導の徹底をする。 ・授業規律を高め、基礎学力の向上を図る。 ・清掃を徹底し、学習環境の整備を図る。 ・進路選択について意識を高める。 ・社会人としてのマナーとルールを身に付けさせる。 ・企業や大学などの進路先の情報を充実させ、きめ細かく提供する。 ・履歴書、面接、作文指導を充実させる。	・出欠状況が良くなったか ・授業規律は良くなったか ・清掃の徹底ができたか ・進路意識を高めることができたか ・情報提供ができたか ・充実させることができたか	・昨年度より遅刻の数は減少している。 ・朝学習や進路指導等で良くなっている。 ・一斉清掃を実施することで、習慣化されつつある。 ・進路シミュレーション、模試、懇談会等で意識を高め、同時にマナーやルールについても指導している。 ・相変わらず状況は厳しいが、若干であるが一次内定率が昨年度より向上した。 ・進路指導部、学科の協力により充実することができた。	